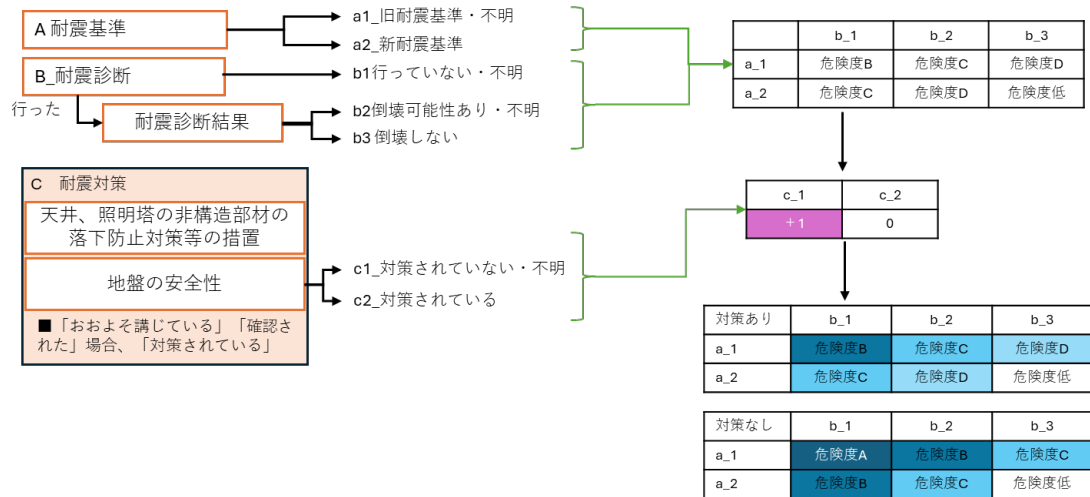


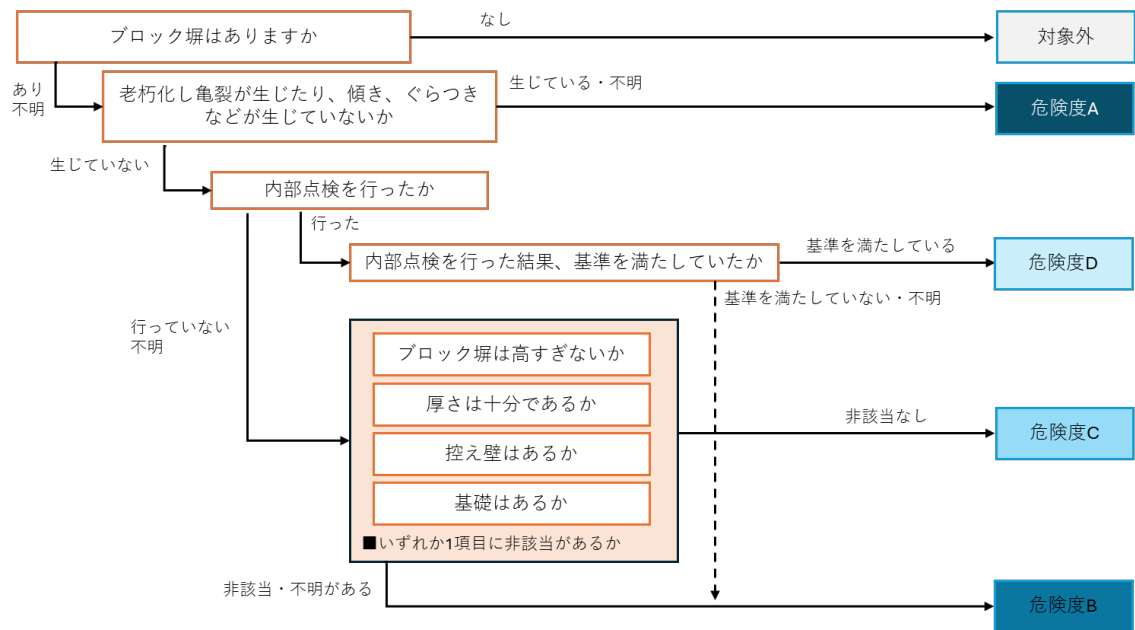
危険度説明用資料

○耐震化対策



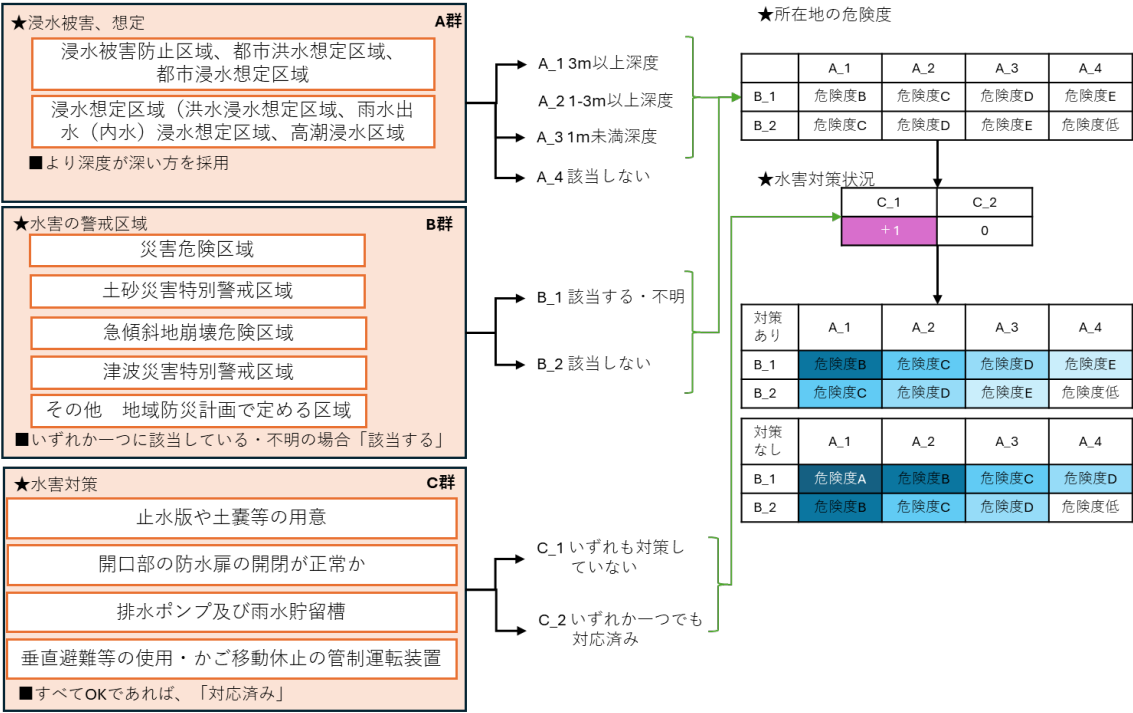
危険度	解説
A	・旧耐震基準（または基準が不明）であり、耐震診断を行っていない 耐震対策がいずれもなされていない（または対策状況が不明）
B	・旧耐震基準（または基準が不明）であり、耐震診断を行っていない 耐震対策は行われている ・旧耐震基準（または基準が不明）であるが、耐震診断を行い倒壊の可能性がある 耐震対策が行われていない ・新耐震基準であるが、耐震診断を行っていない 耐震対策は行われていない
C	・旧耐震基準（または基準が不明）であるが、耐震診断を行い倒壊の可能性がある 耐震対策が行われている ・新耐震基準であるが、耐震診断を行っていない 耐震対策は行われている ・旧耐震基準（または基準が不明）であるが、耐震診断を行い倒壊の可能性がない 耐震対策が行われていない ・新耐震基準であるが、耐震診断を行い倒壊の可能性がある 耐震対策が行われていない
D	・旧耐震基準（または基準が不明）であるが、耐震診断を行い倒壊の可能性がない 耐震対策が行われている ・新耐震基準であるが、耐震診断を行い倒壊の可能性がある 耐震対策が行われている
低	・新耐震基準であり、耐震診断を行い倒壊の可能性がない

○ブロック塀対策



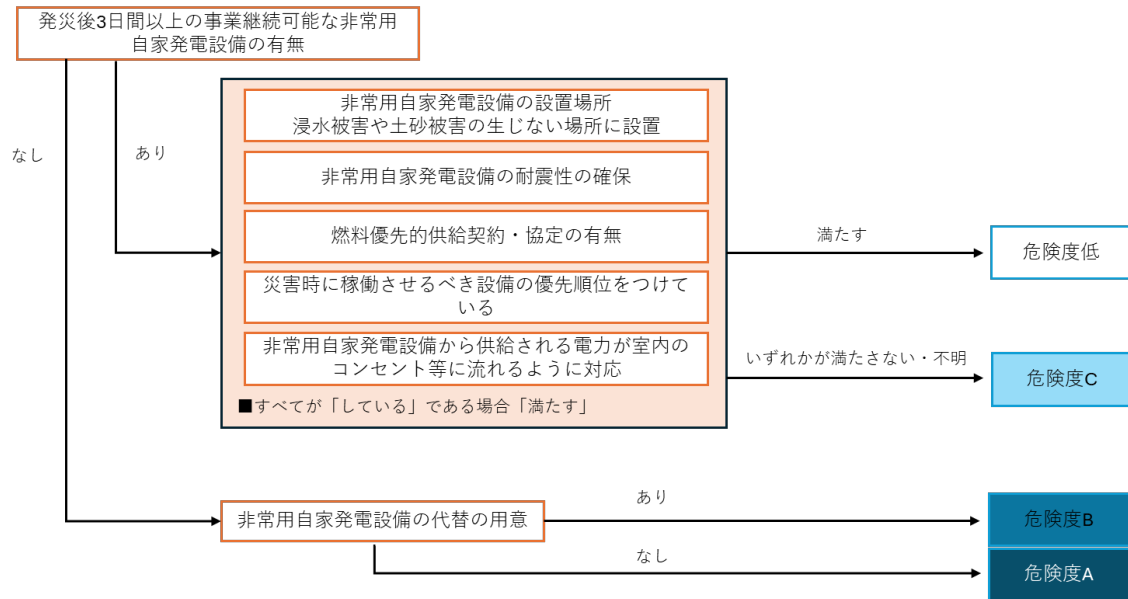
危険度	解説
A	・老朽化し亀裂が生じたり、傾き、ぐらつきなどが生じている。
B	・老朽化し亀裂が生じたり、傾き、ぐらつきなどは生じていないが、内部点検を行っていないか、点検を行ったか不明である。加えて、ブロック塀になんらかの課題がある。 ・あるいは、内部点検を行った結果、基準を満たしていないとの結果であった（あるいは、結果が不明の状態である）。
C	・老朽化し亀裂が生じたり、傾き、ぐらつきなどは生じていないが、内部点検を行っていない、あるいは、点検を行ったか不明であるものの、ブロック塀に課題がなかった。
D	・老朽化し亀裂が生じたり、傾き、ぐらつきなどは生じておらず、内部点検を行った結果基準を満たしていた。
対象外	・ブロック塀がない

○水害対策



危険度	解説
A	・浸水被害想定が3m以上であり、いずれかの警戒区域に該当する 水害対策をいずれも実施していない
B	・浸水被害想定が3m以上であり、いずれかの警戒区域に該当する いずれかの水害対策を実施している ・浸水被害想定が3m以上であり、いずれの警戒区域にも該当しない 水害対策をいずれも実施していない ・浸水被害想定が1m以上3m未満であり、いずれかの警戒区域に該当する 水害対策をいずれも実施していない
C	・浸水被害想定が1m以上3m未満以上であり、いずれの警戒区域に該当する いずれかの水害対策を実施している ・浸水被害想定が3m以上であり、いずれの警戒区域にも該当しない いずれかの水害対策を実施している ・浸水被害想定が1m以上3m未満以上であり、いずれの警戒区域にも該当しない いずれかの水害対策を実施していない ・浸水被害想定が1m未満であり、いずれかの警戒区域に該当する いずれかの水害対策を実施していない
D	・浸水被害想定が1m未満であり、いずれの警戒区域にも該当しない いずれかの水害対策を実施していない ・浸水被害想定ではなく、いずれかの警戒区域に該当する いずれかの水害対策を実施していない
E	・浸水被害想定が1m未満であり、いずれの警戒区域に該当しない いずれかの水害対策を実施している ・浸水被害想定ではなく、いずれかの警戒区域に該当する いずれかの水害対策を実施して
低	・浸水被害想定がなく、警戒区域でもない

○非常用自家発電



危険度	解説
A	・発災後3日間以上の事業継続可能な非常用自家発電設備がない ・非常用自家発電設備の代替の用意もない
B	・発災後3日間以上の事業継続可能な非常用自家発電設備がない ・非常用自家発電設備の代替の用意がある
C	・発災後3日間以上の事業継続可能な非常用自家発電設備がある ・非常用自家発電の設置状況（設置場所（浸水状況、土砂災害がないなど）、耐震性、燃料優先的供給契約・協定の有無、稼働させるべき優先順位の設定、室内コンセント等への対応）において、いずれかの項目が満たしていない。
低	・発災後3日間以上の事業継続可能な非常用自家発電設備がある ・非常用自家発電の設置状況（設置場所（浸水状況、土砂災害がないなど）、耐震性、燃料優先的供給契約・協定の有無、稼働させるべき優先順位の設定、室内コンセント等への対応）において、すべて満たしている。